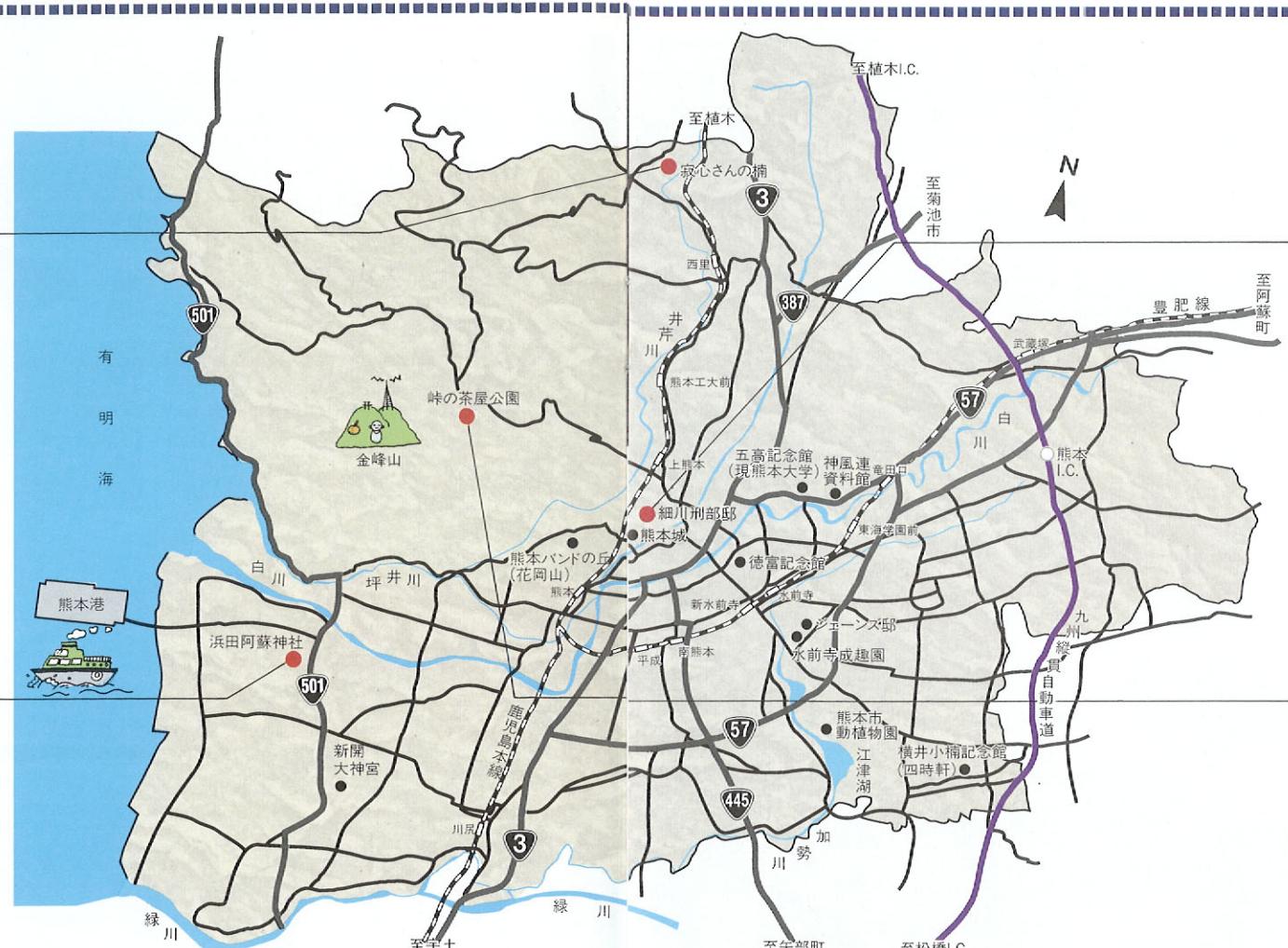




「寂心さんの楠」  
樹齢800年以上、高さ29メートル、幹回り14メートルにも及ぶ巨木で、戦国時代の肥後の武家領主・鹿子木寂心の墓碑をその幹に抱き込んでいるといわれる。



「浜田阿蘇神社」  
この神社には豊作祈願の獅子舞が約300年も前から伝わる。2匹の獅子が真っ赤な髪を振り乱し、赤い唐牡丹を激しく奪い合うこの獅子舞は毎年10月17日に奉納される。



「細川刑部邸」  
江戸時代の細川刑部家の別荘。もともと東子爵町にあったが、火の国エヌタ開幕に伴い熊本城内に移築、復元された。玄関・書院・春松閣・書齋などからなる典型的な上級武家屋敷である。フェヌタ終了後は再整備して、来春から一般公開される。



「峠の茶屋公園」  
金峰山にあり、夏目漱石の小説「草枕」に登場する峠の茶屋を復元したもの。周辺は公園として整備され、園内には売店と漱石ゆかりの品々や昔の農機具などが展示されている資料館がある。

ビルの群れを夕陽が赤く染める  
幕末、明治、そして現代  
変わらぬのはこの空と夕陽だけ

変わらぬのはこの空と夕陽だけ

激動の時代と言われる  
幕末から明治にかけて  
時代を動かした  
熊本の先人たちの  
足跡を辿った。

激動の時代と言われる  
幕末から明治にかけて  
時代を動かした

明治。  
▼揺れる時代を象徴  
小楠らの活躍で新しい日本が誕生した。しかし、時代はまだ揺れていた。明治九年の「神風連の乱」は、その揺れる時代を象徴する出来事の一つだ。

A photograph of a traditional Japanese garden. In the foreground, there's a small pond with a white stone lantern. Behind it is a wooden building with a tiled roof. The garden is surrounded by trees and bushes.

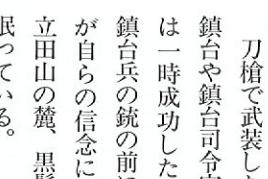
大江の徳富家と川一つ隔てた熊本鎮台司令官の種田政明邸を神風連の兵士たちが襲う。当時九歳だった蘆花の心にこの出来事は強烈な印象を与えた。後に、蘆花は小説「恐ろしき一夜」に當時の情景を描いている。



『横井小楠記念館』も隣接している。四時軒の縁側から穏やかな風景を眺めながら、小楠の生涯に思いを馳せた。

## ▼文壇、論壇の両撃 明治のベストセラー「不<sup>ほ</sup>」

## ▼文壇、論壇の両雄



A large, two-story Western-style residence with a balcony, identified as Jane's Villa. The building has a tiled roof and is surrounded by trees and a fence.

蘇峰は明治十五年、弱冠二十歳で自家に大江義塾を開く。思想に基づく自由平等の思想に基づいたこの塾に、中国革命で活躍した宮崎滔天も学んだ。四年後、蘇峰は上京、翌年、雑誌「国民之友」を発刊し、日



蘇峰は明治十五年、弱冠二十歳で自家に大江義塾を開く。思想に基づく自由平等の思想に基づいたこの塾に、中国革命で活躍した宮崎滔天も学んだ。四年後、蘇峰は上京、翌年、雑誌「国民之友」を発刊し、日

A photograph of a large tree with many green leaves and some small, round fruits or flowers hanging from its branches. The tree is set against a bright, slightly overexposed background, possibly the sky.



A photograph of a large tree with many green leaves and some small, round fruits or flowers hanging from its branches. The tree is set against a bright, slightly overexposed background, possibly the sky.

## ▼熊本近代化の父

眼下に広がるかつての城下町。夕陽  
に照らされたビル群が赤く染まり、白  
川がキラキラと輝いている。時代が、  
人が、街が変わつても、先人たちの偉  
業、熱い思いが時代を超えてドクドク  
と胸に銳く迫つてくるようだ。